

# プロのスタイリストに学ぶお客様に似合うスタイリングづくり

## <第4回> 装いに表情を持たせる素材・質感選びのコツ

日本ファッションスタイリスト協会  
代表理事 あいざわ あゆみ

### Chapter1 素材選びにおける2つのポイント

アイテムを選ぶ際、素材の違い一つで、その人の性格や持ち味にあった装いの表情を演出することが可能になります。素材選びをする際のポイントは、目で見えてわかる印象の視覚と、手に触った時の印象である触覚の2つで見えていきます。

視覚（目で見えてわかる印象）	触覚（手で触って分かる印象）
<p>&lt;参考例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ツヤ・光沢</li> <li><input type="checkbox"/> 目の粗さ・細かさ</li> <li><input type="checkbox"/> 厚地・薄地</li> <li><input type="checkbox"/> 毛羽あり・なし</li> <li><input type="checkbox"/> 畝（うね）がある・ない</li> </ul>	<p>&lt;参考例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 柔らかい・硬い</li> <li><input type="checkbox"/> なめらか・凹凸がある</li> <li><input type="checkbox"/> シャリ感がある・ない</li> <li><input type="checkbox"/> 落ち感がある・ない</li> <li><input type="checkbox"/> 伸びる・伸びない</li> </ul>

### Chapter 2 StylingMap4 テイストに合う素材・質感分析

アイテムの素材の特性を“StylingMap”のテイスト分析軸に並べると下記のような分析結果になります。その人の内面や雰囲気から感じられる装いの表情演出にぜひ参考にしてみてください。

素材感：薄い・柔らかい・軽い

化学繊維・人工的な風合い

天然繊維・自然な風合い

<p><b>Aq</b> なめらかで柔らかな肌触りが良い素材</p> <p>マット・無光沢</p> <p>シフォン    ジャージー    カシミア    シープスキン</p> <p>ホワイトゴールド    パール    シルバー    ローズクォーツ</p>	<p><b>Br</b> 軽さや透け感があり、多少のハリが感じられる素材</p> <p>ツヤ・光沢あり</p> <p>サッカー    オーガンジー    ダンガリー    ナイロン</p> <p>ビーズ    スパンコール    イエローゴールド    プラチック</p>
<p><b>Cr</b> しっかりしていて強いハリが感じられる素材</p> <p>ツヤ・光沢あり</p> <p>ベルベット    サテン    エナメル・レザー    メタリック・クロス</p> <p>スタッズ    プラチナ    ダイヤモンド    サファイア</p>	<p><b>Ea</b> 凹凸感やボリューム感がある自然な風合いが感じられる素材</p> <p>マット・無光沢</p> <p>ツィード    コーデュロイ    スエード    レザー</p> <p>ゴールド    ブロンズ    キャッツアイ    天然素材</p>

素材感：厚い・重い・硬い